

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	救急車で緊急走行中の、交差点でのヒヤリハット事例。
3. 体験した事例の中心的要素	救急車で緊急走行中、交差点に進入しようとした際、携帯用音楽プレーヤーをイヤホンで聴きながら自転車に乗った少年がノンストップで救急車の前を横切って行った。徐行していたため事故を未然に防げた。 日頃からイヤホンを使用している人は多く、特に通勤、通学時間帯は細心の注意が必要であると感じた。
4. 体験した事例の原因・理由	自転車の飛び出し。

### 【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

### 【体験した事例について】

1. 発生日時	平成22年10月12日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：路上(信号機のある横断歩道)
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急出動途上、[ ]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	搬送中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[28]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8]年、階級[士長] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[43]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[7]年、階級[士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[24]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	緊急走行で運転中	徐行運転をした。
経過2	当事者B	助手席で進行方向を見ていた	注意を促した。
経過3	当事者C	車内後部で傷病者を観察中	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。危険事象の対応方法を知っていた。集中力、注意力があった。周囲の視界が確保できていた。現場周辺の地理を知っていた。指揮者が適切に指示した。他隊(員)との連携活動がうまくいった。他隊(員)から適切な注意を受けた。たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



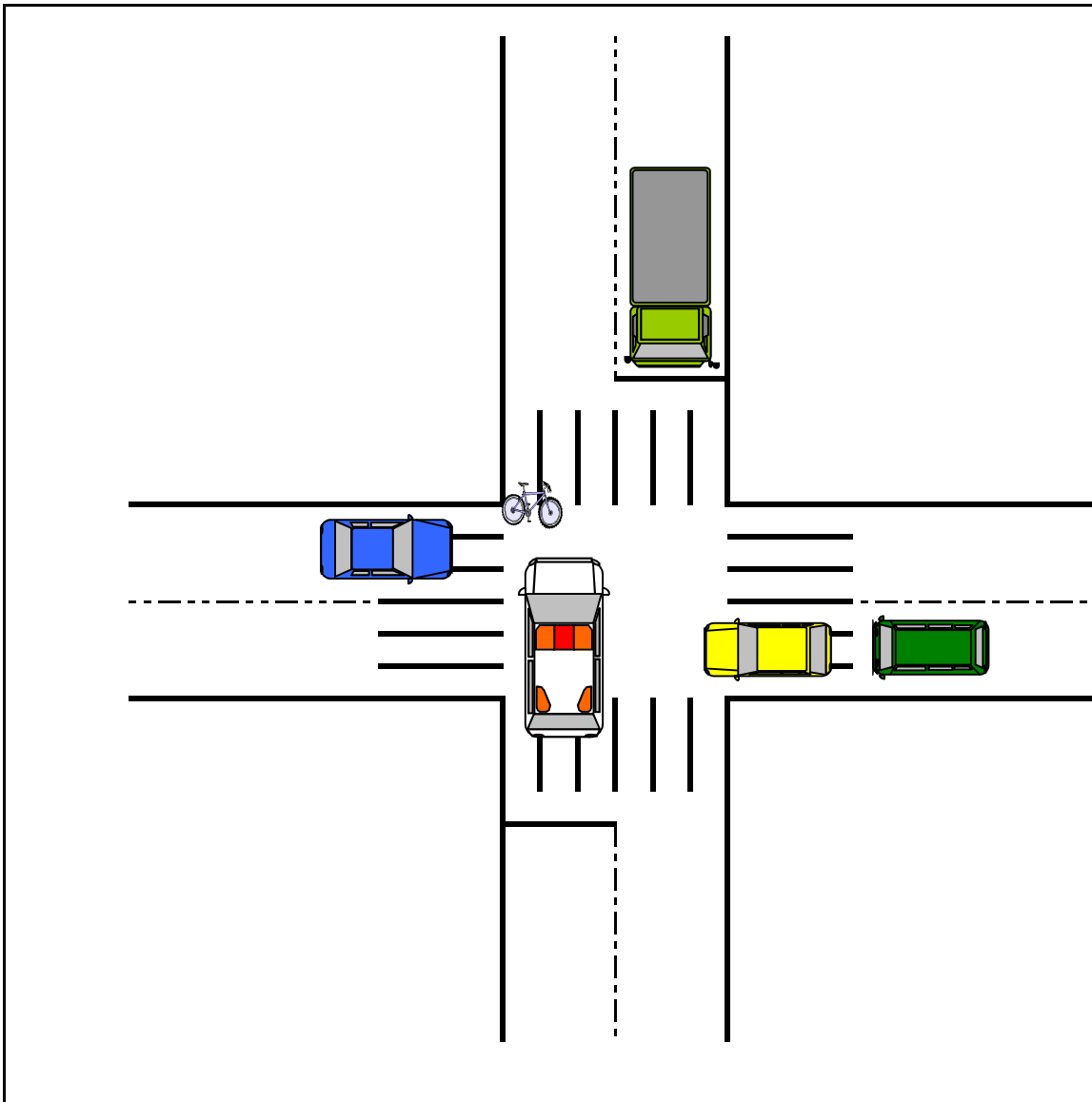
○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

# 救急車と自転車とのヒヤリハット事例



救急車で緊急走行中、交差点に進入しようとした際、携帯用音楽プレイヤーをイヤホンで聴きながら自転車に乗った少年がノンストップで救急車の前を横切って行った。

徐行していたため事故を未然に防げた。

日頃からイヤホンを使用している人は多く、特に通勤、通学時間帯は細心の注意が必要であると感じた。